

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 久野 峯一
 幹事 萩原 喜代子
 広報・会報委員長 牧野 登志子

No. 24

夢をかたちに

Make Dreams Real

2008~2009年度 RI会長 李東建

きょうの例会

第1256回 平成21年 1月20日(火)
 講演 “川柳でみる囲碁の楽しさ”

日本棋院中部総本部所属 伊藤 庸二様

先週の記録

第1255回 平成21年 1月13日(火) 晴
 講演 “江戸のエスプリ” 雨甲斐創一様

◆“奉仕の理想”

◆ゲスト紹介 江戸文化研究 雨甲斐創一様
 雨甲斐朱美様

◆出席報告

会員 51 (47) 名 出席 41名
 出席率 87.23 %
 前々回 12月 16日 (修正出席率) 96.36 %

萩原幹事報告

- 1) 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は4階の楓の間にお集りください。
- 2) ロータリーの友とガバナー月信が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。
- 3) 次回20日と27日は例会場が4階の雅の間となりますのでお知らせ致します。

久野会長挨拶

こんにちは 今日ゲストに江戸文化研究家の雨甲斐創一様と朱美様をお迎えしての例会となりました。雨甲斐様には後ほど講演をお願い申し上げます。

さて、十日えびす、鏡開きも終り1月13日となり正月気分も少し抜けてきましたが、1月13日は「初虚空」です。「十三詣」をご存じだと思います。十三歳の子供たちが親につれられ虚空蔵菩薩に参拝して、知恵を授かるのですが、この虚空蔵菩薩は毎月13日が縁日であり1月13日は年の最初の縁日ですので「初虚空」といいます。より知恵を授かるため、多くの受験生やその親族が参拝されます。

小寒(1月5日)が過ぎ、冷ゆるが故に雨も雪とな

る時節であります。ここ数日寒さ厳しい毎日です。御健康に充分注意してお過ごし下さい。

◆講演 “江戸のエスプリ”

雨甲斐創一様(紹介牧野さん)



さて、みなさんは日本文化と聞いて最初に思い浮かべることは何でしょうか？すしですか？芸者ですか？それとも歌舞伎ですか？すべて、江戸時代に始まったり盛んになったものばかりです。日本舞踊や小唄・三味線の稽古に励む母の影響を受け、私自身も自然に江戸文化に興味をもち、そこで本日は「江戸のエスプリ」というテーマで日本の歴史上、最もユニークで活気にあふれ、真の意味の日本文化が開花しました江戸時代、特に文化文政時代の人々の暮らしぶりをお話しさせていただきます。

江戸時代とは、1603年に徳川家康が江戸に幕府を開いた頃から、1867年に最後の将軍、徳川慶喜が政権を天皇に返すまでの約260年間をさします。海外との交流をほとんど断たれていた鎖国時代であり、厳しい封建時代でもありました。しかし幕府が厳しい法律を強制すればするほど、一般の人々はそれをバネにするように、驚くほど知恵とバイタリティーを発揮して、現在の日本文化の基となるような素晴らしい文化を築き上げていったのです。

まずはファッションについて、一言で言えば、男っぽいやさっぱりとしたファッションが好まれ、男性も女性も同じようなものを身につけるのが江戸の特徴です。黒、茶色、ベージュ、グレイ、白が好みの色です。後で住まいについてもお話しますが、屋根が黒、壁が白、柱が茶色、障子が白、畳がベージュで、これらの

色はすべて日本人が身体に持っている色です。髪の色、肌のベージュ、白目の白…日本人がもともと持っているグラデーションです。そういう色を身に付け、同じ色調の居住空間に住むというのは、保護色の中にいて落ち着くわけです。ファッションに話を戻しますと、これら好みの濃い色を基本とし、1か所だけ赤や紫などの鮮やかな色を使うのが江戸スタイルです。女性の化粧でも、ファンデーションやアイカラーは使わず、素顔のままに鮮やかな赤の口紅だけを付けます。素肌の美しさが最も大切にされ、特別な鳥の糞を粉にして洗顔料にしたり、酒を化粧水として使ったりと磨きをかけていました。おもしろいことに、男性もヒゲや身体中の無駄毛を抜いてすべすべの肌を保つ努力をしていたようです。着物の柄にも毎年流行があり、歌舞伎役者が舞台上で着た着物の柄を一般の人々が真似たのです。現在でもそのいくつかが着物や手ぬぐいの中に残っており人々に好まれています。また、着方も随分ゆったりと身体に馴染ませてきておりました。補正などは一切なく、着物のほうを自分の身体に寄せてくるような着こなしと言えばよろしいのでしょうか。現代の若い方々が和服をお召しにならないのは残念なことです。着物イコール晴れ着ではなくて、江戸時代のように日常着になれば嬉しいと思います。何といたしましても日本女性は和服をお召しになればおんなづりが十倍上がると思います。

次に食べ物について、現代のように決まった時間に食事をする人は少なかったようです。江戸時代は独身者が多く、また結婚していても共働きがほとんどで、外食が盛んでした。江戸の路上にはいつも屋台が行きかい、だれでも手軽に利用できます。屋台は江戸版ファーストフード店というわけです。先ほど江戸時代は独身者が多いとお話しましたが、それは江戸幕府が開かれるまでただの田舎町であった江戸に、大勢の男性労働者が町作りのために移住してきたこと、また、それまで政治経済の中心であった京都や大阪の大商店が新首都・江戸に支店を出すため、多くの男性従業員を送りこんだことなどが原因といえます。つまり江戸時代には女性の数が男性より圧倒的に少なかったのです。結婚相手を選ぶのも女性が主導権を握っています。ですから選ばれた夫は妻を非常に大切にしました。で

は、結婚相手が見つからず、一生独身ですごした男性たちは心のやすらぎをどこに求めたのでしょうか？ここで次のキーワード、芸者が登場します。彼女たちは幼い頃から踊りや音楽、生け花、茶道など様々なお稽古をつんでいます。ですから、どんな職業や身分の男性を客として迎えても楽しませることができプロフェッショナルなエンターテナーです。

最後に住まいについて、町はそれぞれ、表通りの商店街とその裏に一般の人々が住む小さな貸家グループとで構成されていました。つまり約四十軒ほどの商店+貸家とで1町・1単位となります。借家の住人たちは井戸と便所を共同で使用しました。

江戸後期にはこのような町が808個あったといわれていますので、文字通り世界1の大都市であったといえます。表通りから裏通りへ入る所にはすべて門が設置されていました。この門は安全のため夜十時から朝六時まで閉められ、通行ができないようになっていました。江戸では現在の警察署や消防署のように国家や地方自治体が町を警備するのではなく、町人たちがお金を出し合って管理する自警組織でした。ですから、毎日の警備は貸家の持ち主や町ごとの消防団が担当します。この消防団のメンバーがみな元気でおしゃれな男性ばかりでしたから、歌舞伎役者と同じぐらい女性に人気があったといわれています。

江戸文化のほんの一部をご紹介しました。私の話を聞いて、日本人は時間に終われる働き蜂」とか「日本文化は堅苦しくて難解」または「封建時代の人々、特に女性は虐げられた時代の犠牲者」…といったいわゆる日本人および日本文化に対するステレオタイプのイメージを少しでも変えていただければうれしく思います。

●1月理事役員会議題

- 1) 新入会員候補者承認の件。
笹野義春君（定款第9条第3節）承認
- 2) 出席免除願いの件。
川浦忠君 12月末にて退会承認
- 3) 退会届の件。
川浦忠君 12月末にて退会承認
- 4) 年末会員・家族懇親会収支報告書の件。

ニコボックス

浅井 誠寿	服部 正夫	林 正路	竹内 克豊	竹内 眞三
四日に伊勢に初詣で 米・塩・	池森 由幸	伊藤 健文	谷口 優	舎人 経昭
するめ・昆布のおさがりをいた	加藤 顕	小林 英毅	遠山 憲孝	和田 正敏
いて一句	小杉 啓彰	小山 雅弘	山本 英次	吉田 節美
初伊勢や神に供ふる素なるもの	牧野 登志子	松居 敬二	吉田 玄	
久野 峯一	宮尾 紘司	水谷 祥督	雨甲斐さん	お話楽しみにして
初雪ではありませんか 朝の大	西川 豊長	大口 弘和	ます	
雪には驚きました	佐久間 良治	佐野 寛		
油田 弘佑 足立 一郎	佐々木 敏夫	鈴木 正男		
在田 忠之 萩原喜代子	鈴木 理之	鈴木 聖三		
				合計 42,000円

次回例会 平成21年1月27日(火) 友愛の日